

# 土門

土門拳記念館コレクション展

肉眼を  
超えたる  
レズンズ

# 拳

2022

5.29日→7.10日

開館時間—9:00—17:00(最終入館16:30)

休館日—6.6日 13日 20日 27日 7.4日

入館料—[一般]800円(団体700円) [大学生]600円(団体500円)

■団体は20名以上

■高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方と介助者1名は無料

主催—公益財団法人安曇野文化財団、第22回共同巡回展実行委員会

共催—安曇野市、安曇野市教育委員会、市民タイムス

特別協力—公益財団法人さかた文化財団 土門拳記念館

特別協賛—日本通運株式会社 北九州支店

後援—信濃毎日新聞社、中日新聞社、MGプレス、NHK長野放送局、

SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、

abn長野朝日放送、FM長野、おづみ野テレビ、おづみ野エフエム

助成—一般財団法人地域創造



Azumino Municipal Museum of Modern Art, TOYOSHINA  
安曇野市豊科近代美術館

〒399-8205 長野県安曇野市豊科5609-3

TEL. 0263-73-5638 FAX. 0263-73-6520

http://azumino-museum.com

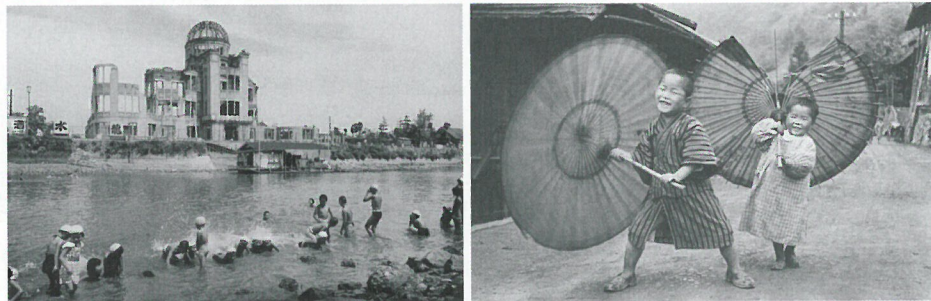


AZUMINO ART LINE  
安曇野アートライン  
当美術館は安曇野アートラインに参加しています

激動の昭和を独特のカメラアイで切り撮り、日本の写真界に大きな足跡を残した写真家・土門拳(1909-1990)。戦前、戦中、戦後、復興、高度成長と、日本社会全体が目まぐるしく変化していく中、強烈な個性とこだわりを持ち、一貫してそこに生きる日本人や現実社会を撮り続けました。同時に、古寺や仏像などを大型カメラで見据え、独特の美意識で、連続と続く日本人の心を追求しました。

発表された数多くの作品と土門拳の写真に対する考え方は、その時々々の社会に影響を与え、日本の写真文化の形成にも大きな役割を果たしてきました。

本展は土門拳記念館の協力のもと、開館30周年を迎える安曇野市豊科近代美術館を皮切りに、他3都市を巡回します。当館では、その後の写真界に影響を与えたライフワーク『古寺巡礼』をはじめ、『風貌』、『ヒロシマ』や『筑豊のこどもたち』、戦前から戦後の日本の姿を捉えた貴重な作品群など土門の代表作約140点を展示します。さらに特別展示として長野県安曇野市出身の近代を代表する彫刻家・荻原守衛の作品を撮影した「荻原守衛の彫刻」シリーズ20点も紹介します。



1.《梅原龍三郎》1941年 2.《銀座4丁目交差点》1946年 3.《女》(頭部)1945年 荻原守衛作  
4.《原爆ドームと元安川》1957年 5.《傘を回すことも小河内村》1935年頃 6.《平等院鳳凰堂夕焼け》1961年  
7.《平等院鳳凰堂の大棟鳳凰を撮影中の土門拳》1964年 [撮影]土門拳(7を除く) すべて土門拳記念館蔵



【アクセス】  
JR大糸線豊科駅下車 徒歩約10分  
長野自動車道安曇野I.C.より車で約5分  
【駐車場】  
美術館正面/約100台(無料)

新型コロナウイルス感染症の状況により、掲載内容等を変更する場合がございます。ご来館前に当館ホームページにて最新情報をご確認ください。またご来館の際には、マスク着用・検温・手指消毒など感染症対策にご協力ください。



### 土門拳記念館による特別講演会

展覧会特別協力の土門拳記念館からゲストを招き、土門拳についてそれぞれお話いただきます。

講師——[第1部]田中耕太郎氏(土門拳記念館学芸員)

[第2部]藤森武氏(本展アドバイザー、土門拳記念館学芸担当理事)

日時——5.29日 14:00-

場所——美術館 多目的ホール

定員——30名

参加費——無料(但し美術館の特別展入館券が必要)

申込——4.26日より電話で受付

### 【ワークショップ】空き箱でカメラオブスキュラ

カメラの語源である「カメラオブスキュラ」の構造を理解し、写真撮影の原点を体験できるワークショップです。

日時——6.4日

①午前の部10:30- ②午後の部14:00-

場所——美術館 オリエンテーションルーム

講師——美術館職員

対象——小中学生(家族参加可)

定員——各回先着10名

参加費——200円

申込——4.26日より電話で受付

### ギャラリートーク

日時——①6.5日 ②6.25日 両日14:00-

場所——美術館 2階展示室(2階エレベーター前集合)

参加費——無料(但し美術館の特別展入館券が必要)

申込——不要

### 【ワークショップ】初心者向けポートレート講座

プロカメラマン・雷鳥写真家の高橋広平氏に構図や光の取り入れ方など撮影のコツを教えてください、撮影会を行います。ご家族やお友達などペアでお申し込みください。

日時——6.11日 13:30-16:00

場所——美術館(多目的ホール集合)

講師——高橋広平氏(雷鳥写真家)

定員——先着7組14名

持ち物——デジタルカメラ、カメラ付きスマートフォンなど

参加費——1組500円

申込——5.24日より電話で受付

### 横浜美術館学芸員・大澤紗蓉子氏による記念講演会

本展覧会カタログの総論執筆者である大澤紗蓉子氏をお招きします。

講師——大澤紗蓉子氏(横浜美術館学芸員)

日時——6.19日 14:00-

場所——美術館 多目的ホール

定員——30名

参加費——無料(但し美術館の特別展入館券が必要)

申込——5.24日より電話で受付

### 【ワークショップ】光で遊ぼう! サイアノタイプに挑戦

光を使って、専用の薬液で作成した印画紙に、影絵を焼き付けます。

日時——7.2日

①午前の部10:00- ②午後の部14:00-(各90分程度)

場所——美術館 オリエンテーションルーム

定員——各回先着10名

参加費——500円

申込——5.24日より電話で受付